

おおの自治協だより

発行：大野地区自治協議会（大野地区コミュニティセンター内）
佐世保市田原町 13-29 ☎ 80-3604
E-mail: oonojichi2508@gem.bbiq.jp



2024年1月17日発行

「消防団のあゆみ」

- ☆昭和 8 年 3 月 3 日
大野村公設大野消防組発足。指揮命令権が警察署にあった。
- ☆昭和 14 年 4 月 17 日
大野警防団となる。V8 エンジン搭載のガソリンポンプ車が配置される。
- ☆昭和 17 年 5 月 27 日
佐世保市大野警防団となる（佐世保市と合併のため）。
- ☆昭和 22 年 4 月 30 日
佐世保市消防団となる（名称変更）
- ☆昭和 23 年 3 月 7 日
自治体消防となる。警察署の指揮命令から離れ独自組織となる。
- ☆昭和 27 年 4 月 1 日
佐世保市佐世保消防団となる。佐世保・相浦・早岐の三消防団があり、大野は佐世保消防団に編入。トヨタ自動車のポンプ車が配置。その後、坂の上・矢峰・松原に分駐所が設置され可搬ポンプ車と積載車が配置される。
- ☆昭和 33 年
現在の十八親和銀行大野支店の場所に詰め所を移動。
- ☆昭和 48 年 1 月
現在地（瀬戸越四丁目）に新築移転。
- ☆昭和 53 年
今までの三消防団が佐世保市消防団となる。
名称が早岐を東部方面隊、相浦を西部方面隊、佐世保を中部方面隊とした。



「じんねむどん 第一話」大野の民話

1 雀を俵いっぱい獲った話

秋のとり入れがすんだら、どこの家でも庭いっぱいむしろを敷いて、もみを乾燥するのが大変な仕事だったが、ある年のこと、夏ごろから雀が大発生したことがあった。

朝から晩まで「ピーチク・パーチク」といって、干したもみの上に真っ黒になるごと寄ってきて、もみを食うてしまうものだから、じんねむどんはなんとかならんものかと考えた揚句、町へ行って酒の粕を買ってきて、むしろいっぱい拵げて干していたところが、雀が喜んで集まること何百、いや何千と数えきれんごと飛んできて、馬鹿になって食いよったが食うほどに酔うほどに、「ありやりや、こりゃちっとおかしかぞ、よかあ気色になってきたばい、チーイ・チーイ・パッパ・チーパッパ」って、雀の歌もしどろもどろ、足もよろよろになって、何千・何百という雀が酔いたくれて転げまわるのもおれば寝てしまうものもいる始末、すっかり日が暮れても、いっかなねぐらへ帰ろうともせんので、とうとうじんねむどん、竹ぼうきで掃き寄せて俵に詰めたものの、縄でしばろうとしたらくちばしが突き出ている、足が痛かったので、とうとう下駄をはいて締め付けたっていう話。



以上「大野の郷土史」昭和63年発行からお届けしました。

「大野の郷土史」は、大野地区コミュニティセンター図書室においてあります。貸出禁止ですが、興味のある方はどうぞご閲覧ください。

まちづくりのスローガン

ひとよし まちよし 明るい大野